

様式 1

県立藤代紫水高等学校【総合的な探究の時間計画】（令和 8 年度）

学校の教育目標

- ・活力があり、生徒も教職員もともに幸せで楽しい学校
- ・知・徳・体が調和した豊かな人間性を培い、民主的な社会に貢献し得る人間の育成を目指す学校
- ・地域に貢献し、社会から信頼される生徒を育むために、一人一人の生徒に誠実に向き合う学校

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
各教科・科目における見方・考え方で生きて働く資質・能力を養う。様々な事象から自分の問いを生み出し、探究課題に向き合おうとする。地域・社会における事象を探究課題に対して主体的に思考・判断する。	教師による観察記録、評価カードや学習記録、レポートや論文、ポスターなどの製作物、外部講師のコメント、学習の記録や作品などを集積したポートフォリオを用いて行う	学習内容等の順序などを分かりやすくするために、活動予定表などを活用する。時間の見通しを示す。（終了時刻掲示やタイマーによる残り時間の掲示など）

各学年における主な取組内容

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1年	日常の興味をもった事象から設定した課題・問い・仮説に対して、課題解決に向けて実験や検証、フィールドワークを実施する。		関心のある事柄について探究活動を行い、自己の生き方を考え、よりよく課題を発見し解決する姿勢を身につける。
2年	6つのテーマ(国際理解、生活福祉、地域行政、スポーツ健康、経営・経済、自然科学)より、テーマを一つ選び、班ごとに課題を設定し、課題解決に向けて実験や検証、フィールドワークを実施する。	各テーマに対して専門家を外部講師として招集する。	興味関心のある事柄についてそれぞれの分野の視点から探究活動を行い、自己の生き方を考え、よりよく課題を発見し解決する姿勢を身につける。
3年	自らの進路に関わる事柄から設定した課題・問い・仮説に対して、課題解決に向けて実験や検証、フィールドワークを実施する。		進路に関わる事柄について探究活動を行い、自己の生き方を考え、よりよく課題を発見し解決する姿勢を身につける。